

心遣いに感謝いたします Vol.13

この「心遣いに感謝します」と題したお便りは、1月12日以来の、久しぶりの掲載となってしまいました。

この間、新型コロナウイルス「オミクロン株」による感染の急拡大により、朝から数十件もの電話対応に追われるなど、心にゆとりの持てない日々でした。当然、花などを観賞する間もなく、毎日が目まぐるしく過ぎていきます。そんな最中、今日までこちらの多忙さを察して下さっていた地域の方が、ひっそりと久しぶりに校内に花を生けに来てくださいました。来校に気付いたのは本人のお姿を拝見する前でした。校長室に香る柑橘系の甘い匂いでそれが分かりました。ご来校いただき、また、お花を生けていただき、本当にありがとうございました。お陰で心がほっとし、落ち着いた気分になりました。感謝申し上げます。

校長室に生けられた、左上の樹木と花は、ロウバイと日本水仙です。どちらも爽やかで甘い、柑橘系の香りを部屋いっぱいに漂わせてくれています。心が少し引き締まるとともに、リフレッシュされた気持ちになりました。ロウバイは、12月から2月に蠟のように固い黄色い花を咲かせる樹木で、花は、良い香りを放ちます。しかし、実は毒があるので口にしない等、注意が必要です。

右下、数年前からある胡蝶蘭に蕾を確認しました。びっくり仰天です。同時に春の開花が今からとても楽しみです。



右は、児童下足室前の廊下の隅に生けられた生け花です。赤い大輪の花はダリアです。やはりダリアはゴージャスで華やかです。

左は、職員玄関にあるデンマークカクタス。蕾が膨らんできました。開花まであと少しです。

正門の入り口で撮った右の2枚の写真のうち、ピンク色の花を咲かせているのは、サクラソウ。白い花をさかせているのは、ノースポールです。どちらも、しっかり根を張り、よく育ち、花径を伸ばしてきました。春の確かな訪れを感じさせてくれます。3月には満開を迎えると思います。これからも見守っていきます。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくりは人づくり。感謝申し上げます。